

様式第2号（第3条関係）
（会派無所属議員用）

令和元年度政務活動費交付申請書

令和2年3月10日

湯沢市長 様
（湯沢市議会議長経由）

議員氏名 大山 豪 

湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 41,760円

<内 訳>

（単位：円）

科 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	41,760	（うち政務活動費充当額 41,760円）
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
事 務 費		
支 出 合 計	41,760	

参考：申請上限額

交付月額	議員数	交付対象月数	上限額
10,000円	1人	12月	120,000円

既交付額 0円



政務活動費実績報告書

議員氏名 大山 豪 

整理番号	年月日	内 容	経費項目	支出額	備考
1	令和元年7月2日 ～ 令和元年8月1日	◆令和元年8月1日（木） 午後1時～午後5時 研修先：東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト 「全国地方議会サミット2019」	研修費	41,760円	

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

令和元年度

政 務 活 動 報 告 書

令和2年3月11日

湯沢市議会議長 柏原 久寿 様

湯沢市議会議員
大 山 豪 (印)

次のとおり報告します。

研修先	1) 東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト				令和元年8月1日
政 務 活 動 内 容	月日	都市名	研修・要望等 項目	宿泊地	研修・要望先
	令和元年8月1日	東京都江東区	【研修事項】 1) 全国地方議会サミット2019	—	東京ビッグサイト
成果及び活用すべき事項	別紙「研修報告書」のとおり				



秋田県湯沢市議会 大山豪（無会派）政務活動報告（研修報告書）

○日 時：令和元年8月1日（木）13:00~17:00

○活 動 内 容：「全国地方議会サミット2019」への参加

○研 修 先：東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）

○政務活動費の使途項目：研修費

○目 的：地方議会における議会改革の事例研究と、地方議会

のあり方と今後を議論する場を聴講するため。

昨年に引き続き参加するものだが、特に今回は昨年

度末に行われた地方議員NHKアンケートの分析結

果の調査、昨年のサミット後の各地方議会の取組や

新たな実践事例の調査も目的とした。

1. 「全国地方議会サミット」について

て

主に地方議員や自治体職員で構成されるローカル・マニフェスト推進連盟（※1）・マニフェスト大賞実行委員会が真の地方分権確立のため、二元代表制にお

ける地方議会、地方議員、地方自治体の活性化、議会改革を進める一貫で主催し、議会のあり方と今後を議論する研修会である。年一回の開催で、講演会・パネルディスカッションなど行われ、開催の度千人規模の参加者を迎える。

※1 ローカル・マニフェスト推進連盟は2005年の発足以来、議会基本条例の制定が全国の地方議会の半数を超えるほどになったことを成果の一つとし、政策コンテ

ストの主催、曖昧な「公約」ではなく「お願いから約束へ」に象徴される政治・選挙改革としてローカル・マニフェストの普及に努めている組織

2. 全国地方議会サミット 2019 のテ

ーマ

今回のサミットは、チーム議会の理論と実践～チーム議会が地域をより良くする～をテーマに、8/1,2 の二日間に渡って開催された。(サミット参加にあたっては、本市戦没者慰霊祭出席の為 8/2 は不参加) 参加したサミット第一日目の次第・内容は以下の通りである。

①【基調講演】「なぜ今チーム議会が必要なのか」

北川正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

②【パネルディスカッション】「NHK 地方議員 2 万人アンケートのホンネ」

江藤俊昭氏（山梨学院大学教授）、

（NHK 報道局選挙プロジェクト副部長）（NHK 報道局選挙プロジェクト記者）

③【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」

清水克士氏（大津市議会局次長）、小原昌江氏（北上市議会事務局議事課長）、岩崎弘宣氏（取手市議会事務局次長）、小林宏子氏（羽村市議会事務局長）

④【先進事例紹介】「AI・ICT で議会の

未来を切り拓く（その1）」

（株式会社メディアドゥ smart 書記事業部長）

⑤【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山善博氏（早稲田大学教授・元総務大臣）

3. 研修内容に基づく報告

前項 2 の内容について報告する。

①（北川氏講演の主旨を報告）

1995 年に地方分権推進法が国会を通過し、475 本の法改正を経て一括法に突っことを契機に、集権から分権へという流れで国と地方の関係が対等・協力関係として変わった。執行部は国の言われるままにやるということを変えて地方の成功例を作って欲しい、また、地方議会が、執行機関の監視機能が議会だと範囲を狭められたような体ではなく、議会は本当に政策立案できるという条例制定権を以って決定権を持ち、審査も調査も権限があり、機能をワイドにしていけないと地方の政府は成り立たないという想いがあった。執行部と議会が二元を代表し合って競争することが重要である。そして市民の皆さんが、

議員又は首長にお任せの託し民意だけでなく立ち上がって欲しいという想いで本マニフェスト研究所を立ち上げた。地方議会のあり方の先頭を切って、質的な定数・歳費・政務活動費のあり方の改革を皮切りに、地方創生の主役になるべく行動し、今日の活動の主体になっている。この国の地方創生は議会から始める、地方の改革は地方議会から、地方議会から地方を変えて、地方全体で国を変えていくという地方創生の本来の姿になるとういう決意でサミットを開く。議会事務局は昔の書記官制度が残っている部分もあるが、議員と対等で協力的な関係で、議員の仕事が増えている中で事務局員の定数も考えることも含め、切磋琢磨しながら、議長を中心に議会全体としての活動をしていこうというのがチーム議会である。(抜粋)

② (パネルディスカッションの主旨)
NHK の行った全 126 問のアンケートで、全国全ての議会に送付し、回答率は約 60%であった。NHK としては全国の地方議員を対象とした初の調査である。その結果を江藤教授の意見と交え、ディスカッションが行われた。調査結果の詳細

は以下の URL から参考にされたい。

<https://www.nhk.or.jp/senkyo/database/touitsu/2019/questionnaire/>

今回の調査は、2019 年 4 月放送の NHK スペシャル「崖っぷち!? わが町の議会」に反映された。併せて参考にされたい。

<https://www6.nhk.or.jp/special/detail/index.html?aid=20190427>

③ 割愛

④ (システム開発会社の講演聴講後の所感) 知事定例記者会見や県審議会の AI 要約サービスの実証実験についての事例報告があった。やや企業の宣伝色が強かった事例紹介であったが、AI による会議録作成の省力化や、会見内容・審議内容の要約のボリュームを「率」として設定しながらテキストデータ化できる点が大いに評価できるのではと。

⑤ (片山氏講演の主旨を報告) 地方の議会のあり方を変えなくては行けないという問題意識を持っており、今の地方議会の現状を批判的に取り上げることがある。チームは何を使命かとするスポーツの場合は勝利を得たいとしてある。議会では勝利はピン트가ずれるが、日本の議会として一番使命とすることは決めることである。決定機関としての役割である。先入観に囚われず、一つ一つの議案をみんなで議論して、いろんな人の意見

を聞いて是々非々で判断する、首長派だから全部賛成する、反首長派だから全部反対するではない。今の議会は全然チームになっていない、特に会派議会はチームになっておらず、会派を作られて与党だ、野党だ（本来地方議会は与野党なり得ないが）となってはチームになり得ない。チーム議会としてはどんなことが期待されるのか、想定されるかという、首長や執行部が考えたことだから間違っていることではないだろうと簡単に通してしまうことではない。間違いがなければそれは正しいことになるかもしれないが、代表も人間だから間違いもある。場合によっては、政府が考えたことが、首長が出した議案にそのまま乗り移っていることや、悪気はないだろうが公務員本位の内容になっていることを一つ一つ見抜いて本当に市民住民にとって正しいことかチ

ェックしなければならないことである。
（抜粋）

4. 結びに


「チーム議会」という言葉を使う上で一点気をつけなければならないことは、「チーム」や「ワンチーム」という言葉が一人歩きして、大政翼賛的な迎合に走ることが考えられる。今回のサミット参加で、議会においてチームとは、内部で喧々諤々議論をぶつけ合うことを厭わず、議論の切れ目・節目では感情的にノーサイドに切りかわれるか、が問われていると感じた。僭越ながら、個々が存分に傾聴力を発揮し、互いに異論反論を真摯に受け止め、市政の発展に寄与できるかが試されているとも感じた。

様式第2号（第3条関係）
（会派無所属議員用）

令和元年度政務活動費交付申請書

令和2年3月23日

湯沢市長 様
（湯沢市議会議長経由）

議員氏名 大山 豪 

湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

交付申請額 78,240円

<内 訳>

（単位：円）

科 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	90,900	（うち政務活動費充当額 78,240円）
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
事 務 費		
支 出 合 計	90,900	


参考：申請上限額

交付月額	議員数	交付対象月数	上限額
10,000円	1人	12月	120,000円

既交付額 41,760円



政務活動費実績報告書

議員氏名 大山 豪 

整理 番号	年月日	内 容	経費項目	支出額	備考
2	令和 2年 2月 5日 ～ 令和 2年 2月 11日	<p>◆令和2年2月11日（火）</p> <p>午前10時～午後0時30分 地方議員のための地域経済分 析システムRESAS活用 基礎編</p> <p>午後2時～午後4時30分 地方議員のための地域経済分 析システムRESAS活用 応用編</p> <p>研修先：大阪市東淀川区東中島 1-18-22 新大阪丸ビル別館</p>	研修費	90,900円	

- ・年月日は、支出の事実のあった年月日を記載する。
- ・内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

令和元年度

政 務 活 動 報 告 書

令和2年3月23日

湯沢市議会議長 柏原 久寿 様

湯沢市議会議員
大 山 豪

次のとおり報告します。

研修先	1) 大阪市東淀川区東中島1-18-22 新大阪丸ビル別館				令和2年2月11日
政 務 活 動 内 容	月日	都市名	研修・要望等 項目	宿泊地	研修・要望先
	2月11日	大阪府 大阪市	【研修事項】 1) 地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用 基礎編 2) 地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用 応用編	—	新大阪丸ビル別館
成果及び活用すべき事項	別紙「研修報告書」のとおり				



秋田県湯沢市議会 大山豪 政務活動報告（研修報告書）

○日 時：令和2年2月11日（火）

午前10時～午後0時30分

午後2時～午後4時30分

○活動内容：地方議員研修会主催「RESAS活用基礎編・応用編」受講

○研修先：新大阪丸ビル別館

大阪府大阪市東淀川区東中島 1-18-22

○目的：地域経済の構造や実態把握に活用される地域経済分析システム

RESASの有効な使い方について学ぶことを目的とする。RESAS

は内閣府のまち・ひと・しごと創生本部が運用している、産業構

造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビックデータを集約

し、可視化を試みるシステムである。RESASでは都道府県・市区

町村などの地方自治体が客観的なデータに基づき地域の現状と課

題を把握できることを意図しており、行政関係者以外にも多くの機

能を利用できる。

○報 告：

1. 地域経済分析システム「RESAS」

活用基礎編

RESAS 自体はパソコン等を用いて直感的に求める数値を弾き出すことができるツールで、筆者（大山）はシステム自体を実際に何度か使用したことがある。今回の研修では参加した地方議員の街のデータを、操作を交えて分析を行った。改めて操作と活用を学べたが、いささか機械に不慣れな方が多い研修であったため、若干持て余した時間が多かった。パソコン持参で参加したため、我が市のデータのみならず他市町村のデータを実際に分析しながら各種分野の将来予測や実態把握を行った。

2. 地域経済分析システム「RESAS」

活用応用編

地域の実態（長所・短所）の把握、課題の共有においては、データに基づいた議論が求められる。応用編では地域経済循環マップ・産業構造マップ・企業活動マップ・観光マップ・まちづくりマップの全体像から地域の姿にアプローチする活用方法・事例が提供された。詳細は割愛するが、生産・分配・支出の各分析から所得水準や民間消費額・投資額を把握したり、企業活動から海外への進出動向をのぞいたり、大変勉強になった。研修の最後に RESAS 以外のツールの情報提供があり、今回の大きな収穫になった。九州大学等が提供する地域特性の発見に迫る [EvaCva-sustainable/MyCityForecast/](https://eva.cva.sustainable/mycityforecast/) 千葉大学の地域ストックマネジメント研究の成果物である未来カルテ/などフリー素材の紹介であった。未来カルテについては、実際に印字されたものが配布され今後の操作分析の手間が省け、大変ありがたかった。

様式第7号（第8条関係）

（会派無所属議員用）

令和元年度政務活動費収支報告書

令和2年4月9日

湯沢市議会議長 様

議員氏名

大山



令和元年度政務活動費に係る収支について、湯沢市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第8条第1項の規定により、次のとおり報告します。

収入の部

（単位：円）

科 目	決 算 額	備 考
交 付 金	120,000	1回目 41,760円 2回目 78,240円
その他の収入	12,660	議員個人負担分
収入合計	132,660	

支出の部

（単位：円）

科 目	決 算 額	備 考
調査研究費		
研 修 費	132,660	令和元年8月1日 実施 令和2年2月11日 実施
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事務所費		
事 務 費		
支出合計	132,660	



大山豪：政務活動費領収証
(研修費 令和元年 8 月 1 日)

領 収 証

大山豪様

2019年 7月 2日

金17,690円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000001



領 収 証

大山豪様

2019年 7月16日

金14,070円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000005



領 収 書

大山豪様

¥ 10,000

但：全国地方議会サミット2019 参加負担金として

2019年 8月 1日

一般社団法人 マニフェスト研究会

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1-5 階

電話：03-6214-1315



大山豪：政務活動費領収証
(研修費 令和2年2月11日)

領 収 証

2020年 2月 5日

大山豪 様

金23,720円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000004

領 収 証

2020年 2月 5日

大山豪 様

金27,880円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
湯沢801 No.000005

大山豪：政務活動費領収証
(研修費 令和2年2月11日)

領収書 RECEIPT

RS 009917

Hankyu-Hanshin-Daiichi Hotel Group

お名前 大山 豪 様
Name

日付 2020年2月10日
Date

金額 Grand Total										¥	9,300-
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--------

上記の金額正に領収いたしました。(下記の消費税及び地方消費税、宿泊税を含む)
The above sum has been duly received with thanks.(Grand total includes tax)

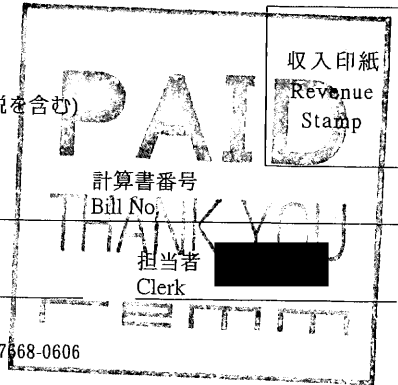
消費税及び地方消費税
Consumption Tax¥

宿泊税
Accommodation Tax

但し 宿泊代とし
Remarks

レム新大阪 remm Shin-Osaka
1-1-1 yodogawaku-miyahara osaka-shi, osaka 532-0003・Phone(06)7668-0606

remm



領 収 証

大山豪 様 2020年2月11日

★ ¥30,000

但 2/11 10:00~「地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用 基礎編」
2/11 14:00~「地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用 応用編」
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297